

# 総務産業常任委員会会議録

- 1 日 時 令和5年9月13日(水)  
15時47分開会 16時11分閉会
- 2 会議場所 役場3階 第1委員会室
- 3 出席議員 委員長：中河つる子 副委員長：田村幸紀  
委 員：只野敏彦、鈴木孝寿、中島里司、深沼達生  
議 長：山下清美
- 4 事務局 事務局長：大尾 智、次長兼総務係長：川口二郎
- 5 議 件  
(1) 所管事務調査の申し出について  
(2) その他
- 6 会議録 別紙のとおり

【開会 15 : 47】

(1) 所管事務調査の申し出について

委員長（中河つる子）： 只今より総務産業常任委員会を開催する。所管事務調査の申し出についてである、只野委員よりDXについて、田村副委員長からは自治体DXについてということではいただいているが他に何かあるか。

鈴木委員： 今回は通常でいくと10月、11月に管外も見に行くことができるわけで、ということとはそれに沿った研修をするということではやるのか、それとも管外研修はしないという方向性なのか、それらも含めたうえで選定しないと難しいと思っていた。その辺はどのような考えで行くのか聞いてみたい。

委員長： 管外研修を含めた10月、11月の研修ということを考えてうえで考えた方がよろしいか。先に、皆さんが考えてきた所管事務調査の内容があれば発言願う。

只野委員： デジタルトランスフォーメーションのことで視察をしたらいいと思っていて、実際にどこかというところ、音更町が先進しているというのが聞こえたのでそこを視察したい、管外は考えていないけれども、それに関してもっといい場所があればそちらでもいいと思う。

田村委員： 実は自分の一般質問で考えて進めていたけれども、担当の職員に聞くと、まだ職員研修とかの段階でまだまだ動き始めている自治体DXの関係を、職員の方もこれからだということで、合わせて議員の方も並行して勉強していくこともいいのではないかと考えてテーマを考えた。このテーマで十勝管内、近隣町村で見られない部分があれば道内研修というようにつなげることもできるという思いが1つテーマとして持った。もう1つは、税金や収納のキャッシュレス化のことも考えてみたいと思ったが、これを組み立てていくと一般質問形式にしかならなかったため、とりあえず今は自治体DXのテーマ1本しか考えていない。

鈴木委員： ICTと農業の絡みの先進地域を見て行くということが清水にとっては一番いいのだろうと思っていた、ただ、委員会としてはどちらの方向に行くかと思いつつ、議員会も全体で見るとあればそれがいいだろうと思いつつ、Jクレジットも含めて色々なものが聞けると研修もできる、ただ議員会は議員会でやるけれども、本来は委員会の案件なので、例えば農業ICTに関しては、うちの基幹産業の部分どうやって推進していくのか、更別村が一番進んでいるがそれ以外にも空知や企業と連携しながらやっているところもたくさんあるので、そういうところを見て行くのもいいと思っていたが、議員会と被るので、今回は議員会でやろうと私の中では思っていたので言っていたけれども、議員会は議員会で、もしあればなら委員会も委員会で農業ICTの関係の先進地域及び企業との連携というのを見るのはおもしろいと

思っていた。

深沼委員：管外と考えた時に思いついたのが東川町、人口も増えて水も綺麗だという部分で、ただ移住関係は前回やったばかりなので。農業ICTの部分は今試されてやっけてドローンは完全に普及してきているので、あと、無人トラクターとかの部分がかどこまでなっているのかというのも気になる部分ではある。

委員長：暫時休憩する。

【休憩 15：58】

【再開 16：10】

委員長：休憩前に引き続き会議を開く。それでは、今までに出てきた定住移住の取り組みで、東川町方面で副委員長と相談して決めてよろしいか。

（「はい」との声あり）

（2）その他

委員長：それではそのようにする。その他なければこれで総務産業常任委員会を終了する。

【終了 16：11】